

後援：川崎市／川崎市教育委員会／川崎市社会福祉協議会

神奈川新聞社／朝日新聞横浜総局 読売新聞／毎日新聞／東京新聞《各川崎支局》

東京都合唱連盟／川崎市合唱連盟／川崎市多摩区合唱連盟

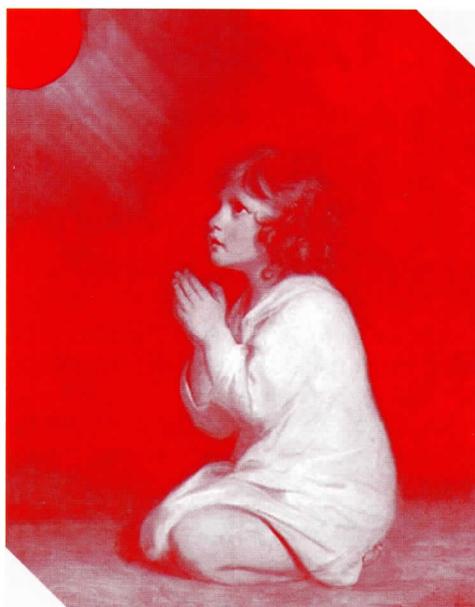
JCDA 日本合唱指揮者協会 音楽のまち・かわさき推進協議会

Voice Space "NOVO"
登戸混声合唱団

the 55th concert

チャリティ No.33

ひとひらのあい
コンサート



2021年12月13日(月) 14:00 開演

川崎市多摩市民館 大ホール

ひとひらのあいコンサートに寄せて

登戸混声合唱団（のぼこん）のクリスマス・チャリティーコンサートが33回目を迎えました。

地域に根ざした活動を基本に様々なステージに挑戦しながら少しずつ歩みを進めて来た当団も、本年は創立42周年を迎えましたが、その間、海外14ヶ国20都市での公演も開催してきました。

昨年初頭から世界的な新型コロナウイルスに振り回され、全国の合唱団が苦難の時を過ごして来ましたが、当団も例に漏れず細々とした活動のなか、それでも新たに鈴木憲夫先生に二つの作品を委嘱する事ができ、本日、皆様に御披露できます事は、とても嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。

当団はこれからも、この登戸の地域のみならず合唱を通して広く多くの皆様の元に、平和に歌い合える喜びを発信して行きたいと願っています。

コロナ禍、また年の瀬のお忙しい中、ご来場頂きました皆々様に心より感謝申し上げます。

登戸混声合唱団 常任指揮者 片野秀俊

お客様に聴いて頂ける喜びはひとしお

昨年はチャリティーひとひらのあいコンサートを初めて中止にしました。準備に追われない半面、気のぬけたような年末になりました。

今年は、感染対策には万全の備えをし、一席ずつ空けての全指定席とし、お客様にも安心して聴いて頂けるよう取り組みました。一般参加の方を練習にお迎えするのはむずかしいため、クリスマスソングのステージも、団員のみで歌います。今年は客席で聴いて頂く、毎年のように参加下さっていた一般参加者の方には機会をご提供できずお詫び申し上げます。来年のチャリティーコンサートは、12/25(日)ですので、より多くの方に聴いて頂けるのではないかと、私どもも、楽しみにしております。

このコンサートで、自ら作詞したものが、鈴木憲夫先生の作曲により、団員一同の演奏で、三次元の世界に羽ばたくことができますこと、委嘱作品への機会を頂いたことに鎮魂と感謝の思いでいっぱいです。

コロナ禍ですので、密をさけるべく、終演後、お客さまをお送りもできないですが、ステージから、歌いながら、まだまだ制約が多い中のご来場に、心より御礼申し上げます。

2021年12月13日 登戸混声合唱団 団長 渡部信子・団員一同

片野秀俊（かたの ひでとし）



福島県いわき市出身。東京声専音楽学校（現昭和音楽大学）卒業。プロ合唱団・日本合唱協会にて1970年から1984年までBass歌手、ソリスト、コンサートマスター。長年にわたり音楽監督山田一雄氏の薫陶を受け、1985年第68回定期演奏会にて指揮者デビューし日唱正指揮者に就任。同団を伴って全国各地で演奏活動を行う。海外ではNYカーネギーホールをはじめ14カ国、20都市で演奏し高評を得る。NHKラジオ「みんなのコーラス」レギュラー解説者、NHK TV「名曲アルバム」他多数出演。「教育音楽」等、音楽雑誌への執筆をする一方、アマチュア合唱団の育成にも力を注いでいる。また、日本ニューフィルハーモニー管弦楽団、TokyoFortuna管弦楽団等、オーケストラの指揮も多い。NHK全国音楽コンクール、全日本合唱コンクール審査員。日本演奏連盟会員。全日本合唱連盟副理事長。東京都合唱連盟顧問。多摩区合唱連盟理事長。

指揮法を山田一雄、ヘルムート・リリング、山本直純、荒谷俊治、飯守泰次郎、若杉弘、演奏法を平井康三郎、清水脩、声楽を下八川圭祐、芳野晴夫他の各氏に師事。

女声合唱曲集「四季を綴る」監修、「ふるさとは今も変わらず」（作詩・作曲 新沼謙治）-混声・女声合唱版を編曲出版、女声合唱曲集「郷愁によせて」監修。「見上げてごらん夜の星を」編曲出版。

井熊康子（いくま やすこ）



桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。岡林千枝子、平尾はるな、井上二葉の各氏に師事。伴奏に関してはダルトン・ボードウィン、ワルター・モア、ジョルジュ・プリュデルマッシュールの各氏に教えを受け、多くの名演奏家のもとで研鑽を積む。京都フランス音楽アカデミー、イーストマン音楽学校夏期セミナーなどに参加。現在は主に声楽、合唱の伴奏者として演奏活動、レコーディングなどを行っている。

日本演奏連盟、フォーレ協会、フランス歌曲研究会会員。

登戸混声合唱団の、米・仏・伊・独・澳・西・葡・希等での海外演奏で伴奏をつとめた。

登戸混声合唱団 (50音順)



- | | | | | | | |
|-------|--------|-------|---------|--------|--------|--------|
| ◆ソプラノ | (大平雅子) | 加藤由貴子 | (須山久美子) | (長沼菖江) | 花島佳子 | 濱野とも子 |
| | 平原みち子 | 福場尚子 | 室内真紀 | 森 慈恵 | 渡部信子 | |
| ◆アルト | 中村純子 | 松本寛子 | 吉田ヒサ子 | (吉田玲子) | 和田晴子 | (根村道子) |
| ◆テノール | 奥田雅晴 | 小口武人 | 小島 修 | 釜我利彦 | (菅野 宏) | 佐藤純明 |
| | 西田 誠 | 山田多美枝 | | | | |
| ◆バス | 今村勝行 | 追川 誠 | 小野博茂 | 日野杉勉 | (古谷修一) | 細野文夫 |
| | (松本英嗣) | 諸石光太郎 | | | | |

◆ステージマネージャー 佐藤尚之

プログラム

指揮とお話 片野秀俊 ピアノ 井熊康子

I. アカペラの響き

Hodie	グレゴリオ聖歌
O Magnum Mysterium	Tomas Luis de Victoria
ALMA REDEMPTORIS	G.P.da Palestrina

II. 日本のうたアラカルト

荒城の月	作詞：土井晩翠 作曲：滝 廉太郎 編曲：林 光
箱根八里	作詞：鳥居 忱 作曲：滝 廉太郎 編曲：林 光
貝殻のうた	作詞：和合亮一 作曲：伊東康英
いのちの歌	作詞：Miyabi 作曲：松村崇継 合唱編曲：田中達也
涙をこえて	作詞：かぜ耕士 作曲：中村八大 編曲：コタロー

休憩

登戸混声合唱団委嘱曲 初演

かたわらに	作詞：渡部信子 作曲：鈴木憲夫
登戸混声合唱団讃歌 今を輝け	原作：片野秀俊 作詞：鈴木憲夫 作曲：鈴木憲夫

III. たのしいクリスマスソング

メサイアより Hallelujah	G.F.Händel
O Holy Night ～さやかに星はきらめき～	訳詞：海野洋司 作曲：A.C.Adam 編曲：信長貴富
サンタが街にやって来る	作詞：Haven Gillespie 訳詞：神戸孝夫 作曲：J.Fred Coots 編曲：K.桑原
神の御子は	賛美歌 1-111番 編曲：大竹くみ
もみの木	ドイツ民謡 訳詞：並木祐一 編曲：大竹くみ
聖 夜	訳詞：由木 康 作曲：F.Gruber

登戸混声合唱団委嘱曲 初演

かたわらに

作詞 渡部信子
作曲 鈴木憲夫

かたわらに寄り添*1いてともに歩きし君は今

東高根ひがしたかねの森林の

太古たいこの木々のしらかしに

祈りし君は いま彼方かなた

生田いくたの杜もりに春秋はるあきと

息子と語らう君の笑みえみ

眠りし君は 遠くあり

重陽ちようようの日*2に彼方へと

去りし君が見守りし

歌いつづける 我がいて

かたわらに寄り添*1いてともに歩きし君は今

*1 作曲者による

*2 五節句のひとつで九月九日のこと

登戸混声合唱団讃歌

今を輝け

原作 片野秀俊
作詞・作曲 鈴木憲夫

この一粒の種には

夢が 未来が 生命いのちが宿すっている

やがて種は芽を吹き

大地に広がって行く

すべてはひとつぶの種から始まるのだ

多摩川の風よ

この種を飛ばせ

そして未来へと 花を咲かせよ

私たちがここで巡り逢い

奇跡のように共に歩んできた

あたたかな触れ合いが

美しい響きになるとき

私たちは

今を輝くのだ

この一つの歌には

愛が 友情が 心が宿すっている

やがて声が溶け合い

大地に広がって行く

すべてはひとつの歌から始まるのだ

多摩川の空よ

この歌を響かせよ

そして希望の 光で輝かせよ

私たちがここで巡り逢い

奇跡のように共に歩んできた

あたたかな触れ合いが

美しい響きになるとき

私たちは

今を輝くのだ

このコンサートには、心身に障害を持った方々をご招待しております。どうぞご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

一昨年の募金は、160,519円をいただきました。これまでの募金の累計は、4,932,252円となりました。皆様からいただいた拠金は毎年この欄でご報告させていただいております。本当にありがとうございます。

Voice Space “NOVO”

登戸混声合唱団

団員募集中 連絡先：080-5097-2362 渡部

ホームページ：検索【登戸混声】